

6 2026 Jun

KANZAKU No. 243



大切な人たちを  
守りたい



神埼市消防団

# 地域の安全は私たちが守る

「自分たちの地域は、自分たちで守る」という精神のもと活動する消防団。それぞれの仕事や暮らしを持ちながら、あなたの町で活躍する消防団をご紹介します。

重松 大介さん(入団40年目)

神埼市消防団・団長

火災時の消火活動や災害時の避難誘導など、消防団の活動は多岐にわたります。最大の強みは、日頃の生活圏だからこそ地元をよく知っていること。ひとり暮らしの高齢者の把握など、自治会と連携した細やかな支援が可能です。定期的な器具点検や訓練を重ね、地域の防災力向上のために活動しています。地域を守りたい方、ぜひ仲間に加わってください。

普段のお仕事

味噌と醤油の醸造をしています！



森 裕美さん(入団1年目)

女性団員が不足していると聞き、子育てが落ち着いたのを機に入団しました。農業や会社員など、さまざまな働き方の人が集まることで、平日も休日も誰かが動け、活動の幅も広がります。女性団員の活動は、ひとり暮らしの高齢者宅への訪問など、防災啓発が中心です。私もできることから頑張ります！

普段のお仕事

粟たばこ農家の3代目として、夫と農業をしています。



貞包 悠馬さん(入団1年目)

子どもの頃から憧れていた消防団。お世話になっている神埼市への恩返しのため入団しました。初めての訓練では命の重さと使命感が身に染みしました。制服を着ると気持ちが引き締まり、責任の重さを感じます。地域の人に「心強いな」と思ってもらえる消防団員になりたいです！

普段のお仕事

産業廃棄物の収集・運搬の仕事をしています。一児のパパです！





## 消火活動



火災が発生した時の延焼防止や、火災鎮火後の再燃警戒を実施します。  
※文化財火災の想定訓練

## 捜索・救助活動



地震や風水害などの自然災害が発生した時の住民救助や、行方不明者の捜索を実施します。

## 災害時

## 消防団の活動

## 平常時



地域の防災パトロールや広報活動などを行っています。



有事の際に備えて、消防車両や資機材等を定期的に点検します。

## 予防啓発活動

## 各種点検



## Kanzaki Fire Volunteer 神崎市消防団 第三分団バンド 3rd Division Band



別々に音楽活動をしていた3人が第三分団の仲間バンドを組むことに。

ほかの3人はバンド未経験者でしたが声をかけて「第三分団バンド」が結成しました。

現在は、神埼宿場祭りや神幸食フェスタで少しでも消防団に興味を持つきっかけになればと思い演奏しています。

ただし、演奏中に消防団出動メールが来た場合は演奏を中止して現場へ駆けつけることを予めご了承ください。



出演依頼  
待ってます!!

## 団員募集



入団条件 神崎市内に居住または勤務する18歳以上の人  
申し込み 最寄りの消防団の窓口またはお電話ください

防災危機管理課 ☎0952-37-0104

4/17 ポートレーサー宮地元輝さん  
神崎市へ寄付

神崎市出身のポートレーサー宮地元輝さんより、市へ寄付を頂きました。

宮地さんは仁比山小、神崎中、神崎高の卒業生。ポートレーサーとして最高グレードのSG優勝1回、G1優勝4回を誇る人気レーサー。

市役所での贈呈式で「自分を育ててくれた神崎のために、子どもたちの教育振興に寄付したい」と、實松市長に寄付金の目録を手渡しました。

市長は感謝状を贈り、「自分の夢を形にする若い人を応援するために活用したい」とお礼を述べました。



4/24 地域の未来を見つめる  
神崎高校開校記念講演会

神崎高等学校で開校記念講演会が開かれ、講師として實松市長が神崎市の魅力や今後のまちづくりについて講演しました。

講演会の中で、生徒たちから地域の課題や将来への思いについて意見が寄せられ、「スポーツを通じて市外や県外から来る生徒のために、学生寮を整備してほしい」といった意見もありました。生徒と市長がともに神崎市の未来について考える、貴重な機会となりました。



4/24-25 第8回かんざき神幸食フェスタ  
長崎街道門前広場でにぎわう

長崎街道門前広場で「第8回かんざき神幸食フェスタ」が開かれました。昨年に続き、神崎高校放送部のアナウンスでオープニングとなりました。会場には屋台やキッチンカー26店舗が並び、来場者はステージで披露される演奏やダンスなどの多彩なショーを楽しみながら、「神崎グルメ」を味わいました。通りを挟んだ旧古賀銀行神崎支店では、尾崎人形の絵付け体験やメダカすくいなども催されました。

地元の有志が実行委員会を作って毎年開催しており、実行委員長の池田俊久さんは「もっともっと神崎の魅力を発信できるフェスにしていきたい。次回も楽しみにお越しください」と話しました。



5/2~5

## 春の九年庵公開 初のライトアップ

国の名勝・九年庵が一般公開されました。2日は特別限定公開(事前申し込み抽選)が行われました。

ライトアップは初の試みで、庭園は照明に浮かぶイロハモミジや苔の緑が際立ち、趣の違う雰囲気を作り出されました。主屋ではお茶とお菓子のふるまいがあり、山林部平場では「高志狂言」が披露され、参加者は幻想的なひと時を過ごしました。

3日からの一般公開には多くの人を訪れ、新緑に染まる庭園美を満喫していました。

期間中は県内のアーティストによる演奏や嬉野茶のふるまい、キッチンカーの出店があり、来園者は思い思いに春の休日を楽しみました。



5/3~4

## 神埼そうめんまつり 吉野ヶ里歴史公園で開催

市の特産品「神埼そうめん」のおいしさをPRする「神埼そうめんまつり」が吉野ヶ里歴史公園で開催され、多くの人々がそうめん流しを楽しみました。神埼そうめん協同組合が主催し41回目。

参加した子どもたちは流れてくるそうめんを上手にすくい上げ「やった！楽しい！」と歓声をあげていました。

同組合の井上義博理事長は「佐賀県産小麦を100%使用したそうめんを味わっていただいた。のど越しが良く夏にぴったりの神埼そうめんを、夏のギフトにぜひ利用してください」と話しました。



5/9

## 海苔漁師の実話 「ら・かんぱねら」を上映

千代田町のはんぎーホールで映画「ら・かんぱねら」の上映会が開かれ、約700人の市民らが鑑賞しました。

有明海のノリ漁を営む男が、独学でピアノの難曲「ラ・カンパネラ」の演奏に挑む実話をもとにしています。ユーモラスな佐賀弁の掛け合いに会場から笑いがあふれていました。「佐賀弁が身近に感じた」「家族の絆に感動した」との声が上がっていました。

